

II 医療薬学

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
1. 医薬品の作用	A. 薬物の作用機序	a. 促進薬と抑制薬	a 受容体 b イオンチャネル c 輸送体(トランスポーター) d 酵素
		b. 用量・反応関係	
		c. 構造活性相関	
	B. 末梢神経系及びその効果器に作用する薬物	a. 自律神経系及びその効果器に作用する薬物	a 交感神経興奮様薬及び遮断薬 b 副交感神経興奮様薬及び遮断薬 c 自律神経節刺激薬及び遮断薬
		b. 体性神経系及びその効果器に作用する薬物	a 局所麻酔薬 b 神経筋接合部刺激薬及び遮断薬
	C. 中枢神経系に作用する薬物	a. 全身麻酔薬	a 吸入麻酔薬 b 静脈麻酔薬 c 麻酔補助薬
		b. 催眠薬	a ベンゾジアゼピン系薬 b バルビツール酸系薬
		c. 向精神薬	a 統合失調症治療薬 b 抗不安薬・神経症治療薬 c 抗うつ薬 d 抗そう薬
		d. 抗てんかん薬	a 抗部分発作薬 b 抗全般発作薬 c 抗てんかん重積薬
		e. 中枢性筋弛緩薬	a 抗痙性麻痺薬
		f. 抗パーキンソン病薬	a. カテコールアミン関連薬 b 抗コリン薬
		g. 鎮痛薬	a 麻薬性鎮痛薬 b 非麻薬性鎮痛薬 c 麻薬拮抗薬
h. 解熱薬		a サリチル酸系薬 b アニリン系薬 c ピラゾロン(ピリン)系薬	
i. 中枢興奮薬		a 大脳皮質興奮薬 b 中枢性呼吸興奮薬 c 覚醒アミン	
j. めまい治療薬		a 抗ヒスタミン薬 b アドレナリンβ受容体刺激薬	

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
(1. 医薬品の作用)	(C. 中枢神経系に作用する薬物)	k. 脳循環代謝改善薬	a 脳血管拡張薬 b 脳神経機能賦活薬 c 内因性生理活性物質
		l. 抗アルツハイマー病薬	a 中枢性コリンエステラーゼ阻害薬
	D. 免疫系に作用する薬物	a. 免疫抑制薬	
		b. 免疫増強薬	
		c. 免疫調整薬	a DMARD
		d. ワクチン・抗血清	
	E. 抗アレルギー薬	a. 抗ヒスタミン薬	
		b. ケミカルメディエーター遊離阻害薬	
		c. ケミカルメディエーター合成阻害薬	
		d. ケミカルメディエーター遮断薬	
F. 抗炎症薬	a. ステロイド性抗炎症薬		
	b. 非ステロイド性抗炎症薬		
	c. 消炎酵素		
G. 心臓血管系に作用する薬物	a. 心不全治療薬		a 利尿薬 b 強心配糖体 c アドレナリンβ受容体刺激薬 d PDEⅢ阻害薬 e 硝酸薬 f ACE阻害薬 g アンギオテンシンAT ₁ 受容体遮断薬 h アドレナリンβ受容体遮断薬
	b. 不整脈治療薬		a I群薬 b II群薬 c III群薬 d IV群薬 e 強心配糖体
c. 虚血性心疾患治療薬		a 硝酸薬 b アドレナリンβ受容体遮断薬 c Ca ²⁺ チャネル遮断薬 d 血栓溶解薬 e 血液凝固阻害薬 f 血小板凝集阻害薬 f 麻薬性鎮痛薬 g アデノシン増強薬	

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示	
(1. 医薬品の作用)	(G. 心臓血管系に作用する薬物)	d. 高血圧症治療薬	a Ca ²⁺ チャネル遮断薬 b アンギオテンシンAT ₁ 受容体遮断薬 c ACE阻害薬 d 利尿薬 e アドレナリンβ受容体遮断薬 f アドレナリンα ₁ 受容体遮断薬 g 中枢性交感神経抑制薬 h 末梢性交感神経抑制薬 i 血管拡張薬	
		e. 低血圧治療薬	a カテコールアミン系薬 b 非カテコールアミン系薬	
		f. 末梢血管拡張薬	a プロスタグランジン系薬 b ニコチン酸系薬 c アドレナリンα ₁ 受容体遮断薬 d アドレナリンβ受容体刺激薬	
		H. 呼吸器系に作用する薬物	a. 末梢性呼吸興奮薬	
			b. 鎮咳・去痰薬	
			c. 気管支喘息治療薬	
		I 消化器系に作用する薬物	a. 健胃消化薬	
				b. 消化性潰瘍治療薬
			c. 胃・腸機能改善薬	
			d. 鎮痙薬	
e. 催吐及び制吐薬				
f. 瀉下及び止瀉薬				
g. 肝・胆・膵臓機能改善薬				
J. 泌尿器系に作用する薬物	a. 利尿薬		a 浸透圧性利尿薬 b チアジド系利尿薬 c 炭酸脱水酵素阻害薬 d ループ利尿薬 e カリウム保持性利尿薬 f アルドステロン拮抗薬	
	b. 排尿障害治療薬			

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
(1. 医薬品の作用)	(J. 泌尿器系に作用する薬物) K. 生殖器系に作用する薬物	c. 頻尿治療薬	
		a. 性機能不全治療薬	
		b. 子宮収縮薬	
		c. 子宮弛緩薬	
	L. 血液・造血器官に作用する薬物	d. 避妊薬	
		a. 貧血治療薬	
		b. 血液凝固阻害薬及び止血薬	
		c. 血小板凝集阻害薬	
		d. 血栓溶解薬	
		e. 血液代用薬	
M. 眼に作用する薬物	f. 血液製剤		
	a. 点眼薬(散瞳薬、縮瞳薬、局所麻酔薬、抗菌薬、角膜治療薬、血管収縮薬)		
	b. 白内障治療薬		
	c. 緑内障治療薬		
N. 皮膚に作用する薬物	d. アレルギー性結膜炎治療薬		
	a. 皮膚潰瘍治療薬		
	b. 鎮痒薬		
O. 内分泌・代謝系に作用する薬物	c. 角化症治療薬		
	a. ホルモン療法薬	a 視床下部向下垂体ホルモン及び下垂体前葉・後葉ホルモンとその分泌異常治療薬	
		b 甲状腺ホルモンとその遮断薬	
		c 副甲状腺ホルモン	
		d 膵臓ホルモン	
		e 副腎皮質ホルモンとその合成代用薬	
		f 性ホルモン関連薬とその合成代用薬	
		g タンパク質同化ホルモン	
		h 消化管ホルモンとその遮断薬	
		b. ビタミン	a 水溶性ビタミン
		b 脂溶性ビタミン	
	c. 糖尿病治療薬	a インスリン製剤	
		b スルホニル尿素系薬	
		c 速効型インスリン分泌促進薬	
		d ビグアニド系薬	
		e α -グルコシダーゼ阻害薬	

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
(1. 医薬品の作用)	(O. 内分泌・代謝系に作用する薬物)	(c. 糖尿病治療薬)	f インスリン抵抗性改善薬 g 合併症治療薬
	P. 病原生物に作用する薬物	d. 高脂血症治療薬	a HMG-CoA還元酵素阻害薬 b 陰イオン交換樹脂 c フィブラート系薬 d ニコチン酸系薬 e 植物ステロール
e. 高尿酸血症治療薬		a 尿酸排泄促進薬 b 尿酸合成阻害薬 c 痛風発作抑制薬	
	Q. 抗悪性腫瘍薬	f. 骨粗しょう症治療薬	
		a. 抗細菌薬	a β-ラクタム系薬 b アミノグリコシド系薬 c マクロライド系薬 d テトラサイクリン系薬 e ペプチド系薬 f ニューキノロン系薬 g スルホンアミド系薬
		b. 抗抗酸菌薬	a 抗結核薬 b ハンセン病治療薬
		c. 抗真菌薬	a アゾール系薬 b ポリエン系薬
		d. 抗ウイルス薬	a 抗ヘルペスウイルス薬 b 抗サイトメガロウイルス薬 c 抗インフルエンザ薬 d 抗HIV薬 e 抗肝炎ウイルス薬
		e. 抗寄生虫薬	a 抗原虫薬 b 抗駆虫薬(抗蠕虫薬)
		f. 消毒薬	a アルコール類 b ハロゲン化合物 c フェノール類 d 過酸化物 e アルデヒド類 f 界面活性物質
		a. アルキル化薬	
		b. 代謝拮抗薬	
		c. 抗生物質	
		d. 白金錯体	
		e. 天然物由来物質	
		f. ホルモン療法薬	

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示	
(1. 医薬品の作用)	(Q. 抗悪性腫瘍薬)	g. 免疫療法薬		
		h. 分子標的治療薬		
		a. 造影剤		
		b. 機能検査用薬		
	R. 診断用薬	c. 放射性診断薬		
		d. 検査薬(妊娠、糖尿、潜血など)		
		a. 非臨床試験	a. 薬効薬理試験 b. 一般薬理試験	
		S. 薬効薬理と一般薬理	T. 医薬品の安全性	a. 有害事象と副作用
	b. 副作用発現に影響する因子			a 生理的因子(年齢、性) b 病的因子(肝、腎疾患) c 遺伝的因子(人種差、酵素欠損) d アレルギー性体質 e 併用薬 f 環境因子
	c. 薬剤耐性			a メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)等 b 麻薬等 c 抗悪性腫瘍薬等
	d. 急性薬物中毒とその処置			a 処置法(胃洗浄、腹膜透析、人工透析) b 解毒薬
	e. 障害誘発薬物			a 肝障害 b 腎障害 c 循環器系障害 d 神経・感覚器障害 e 皮膚障害(アレルギー、光過敏症) f 血液、造血器障害 g 呼吸器系障害 h 発生・生殖器障害 i 骨格筋障害
f. 薬害	a サリドマイド、クロロキン、キノホルム、ソリブジンと5-FUの併用			

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
2 医薬品の体内動態	A. 薬物動態と変動要因	a. 生体膜透過	a 単純拡散 b 促進拡散 c 能動輸送 d 膜動輸送
		b. 吸収	a 消化管の構造・機能と薬物吸収 b 消化管以外の部位からの吸収 c 初回通過効果 d バイオアベイラビリティ(生物学的利用能) e 生物学的同等性
c. 分布		a 組織分布の支配要因(タンパク結合など) b リンパ管への移行 c 脳・脊髄液への移行 d 胎児への移行	
d. 代謝		a. 代謝様式 b 代謝酵素 c 代謝酵素の阻害と誘導 d 代謝酵素の遺伝子(遺伝的)多型	
e. 排泄		a. 腎排泄 b. 胆汁中排泄・腸肝循環 c. 腎・肝以外からの排泄	
f. 薬物動態の変動要因		a. 医薬品(製剤)側の要因 b 生理的要因 c 遺伝的要因	
g. 疾患時における薬物動		a 腎疾患 b 肝疾患 c 心疾患	
B. 薬物動態の解析と投与計画		a. ファーマコキネティクス(PK)	a PKパラメーター b 1-コンパートメントモデル c 2-コンパートメントモデル d 線形モデルと非線形モデル e 全身・組織・固有クリアランス f モーメント解析 g ポピュレーションPK h 投与方法・剤形とPK i 投与計画 j 非臨床薬物動態試験
		b. 血中薬物濃度モニタリング(TDM)	a TDMを必要とする薬物 b TDMを必要とする状況 c 試料採取と薬物濃度測定
3. 疾病と病態		A. 診療録と臨床検査	a. 主な検査値

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
(3.疾病と病態)	(A.診療録と臨床検査)	b.生理機能検査	a 心電図 b 呼吸機能検査など c 加齢・妊娠
		c.病理検査	a 機能異常と器質変化 b 組織変化と病態
		d. 診療録の読解	a 記載様式 b 常用医療用語
	B.疾病と病態生理学・病態生化学	a. 中枢神経系疾患	a 脳内出血 b 脳梗塞 c クモ膜下出血 d 脳腫瘍(悪性、良性) e てんかん f パーキンソン病/パーキンソン症候群 g アルツハイマー病/アルツハイマー型老年痴呆 h うつ病 i そう病 j 統合失調症 k 神経症 l 心身症 m 片頭痛
		b. 骨・関節疾患	a 骨粗しょう症 b 変形性関節症
		c. 免疫疾患	a アレルギー 蕁麻疹、光過敏症、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎 b アナフィラキシー性ショック c 自己免疫疾患[全身性エリテマトーデス(様症状)、関節リウマチ] d 後天性免疫不全症候群[HIV感染症] e 移植免疫
		d. 心臓・血管系疾患	a 心不全 b 不整脈 c 虚血性心疾患(狭心症/心筋梗塞) d 高血圧症 e 低血圧
		e. 腎・泌尿生殖器疾患	a 糸球体腎炎(急性、慢性) b 腎不全(急性、慢性) c ネフローゼ症候群 d 尿路感染症 e 尿路結石症 f 前立腺肥大 g 陣痛微弱 h 乳がん i 子宮がん
		f. 呼吸器疾患	a 気管支炎

大項目	中項目	小項目	小項目の内容の例示
(3. 疾病と病態)	(B. 疾病と病態生理学・病態生化学)	(f. 呼吸器疾患)	b 肺炎 c 気管支喘息／肺気腫／慢性閉塞性肺疾患 d 肺真菌症 e 肺結核、非定型(非結核性)抗酸菌感染症 f 肺がん
		g. 消化器疾患	a 食道がん b 胃がん c 胃炎(急性、慢性) d 消化性潰瘍 e 肝炎(ウイルス性、急性、慢性) f 劇症肝炎 g 肝硬変 h 肝がん i 急性胆のう炎 j 胆管炎 k 胆石症 l 膵炎(急性、慢性) m 便秘／下痢 n 大腸炎 o 過敏性腸症候群 p 膵がん q 大腸がん r 炎症性腸疾患 s 痔疾患
		h. 血液及び造血器疾患	a 貧血(鉄欠乏性、再生不良性、溶血性など) b 赤血球增多症 c 紫斑病(血小板減少症、血液凝固異常症) d 白血球減少症 e 血友病 f 播種性血管内凝固症候群(DIC) g 血栓・塞栓症 h 白血病(急性、慢性、骨髄性、リンパ性)
		i. 感覚器疾患	a 緑内障 b 白内障 c 眩暈(めまい)
		j. 耳鼻咽喉疾患	a 副鼻腔炎 b 扁桃腺炎
		k. 内分泌・代謝疾患	a 糖尿病 b 低血糖 c 甲状腺機能亢進症／低下症 d 副腎皮質機能亢進症／低下症 e 尿崩症 f 脂質代謝異常(高脂血症) g 高尿酸血症(痛風など)
		l. 炎症	a 炎症(急性、慢性)